

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アトリエ・キッズ高崎貝沢事業所		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日 ~ 2026年 2月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日 ~ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スタッフには保育士・幼稚園教諭・社会福祉士・児童指導員などの有資格者が多い。	月に1度は社内研修を実施し、専門性を高めることに努めている。社内研修に加え、講演会、動画配信された物を活用し外部の研修も受けられる体制を整えている。	支援前、支援後に自身また、全体の支援の方法が適切だったかを振り返りの内容をより充実させることで支援力を高めていきたい。
2	スタッフの年齢層が若いため、今までの事業所で行ってなかった、動画を利用したビジョントレーニングなども取り入れている。	ビジョントレーニングだけでなく、集団での映像鑑賞時のマナーを学び、また集団で回答を行う際、手をあげる。→待つ。→指名される。→答える。など順番や回答時のルールを守るといった社会性の向上へ繋げている。	内容がビジョントレーニングが中心になっている為、教育動画などを活用し、SSTやコミュニケーション訓練に繋げていきたい。
3	室内活動だけでなく、活動的な内容の支援（公園活動、地域のイベントへの参加（SST実践練習）、BBQなど）も提供している。	市のホームページだけでなくインスタなどを活用しながら、近場で開かれているイベントに月に1回程度参加をしている。公共の場でのマナーを守る。わからないことがあった時に適切な人に聞く、集合の時間や場所を守ってグループ行動をする練習など学年に応じて課題を設定している。	電車を使つての移動練習も定期的を実施しているが、バス等幅広く公共交通機関の利用方法を学び、自立した生活を目指すよう、今後もサポートをしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への支援が不十分。	保護者様を対象にした研修や公演の情報やサポートグループの情報は相談頂いた時のみ提供しており、全体に周知をしていなかった。	講演会やサポートイベントの情報があった時には、保護者様に意向に添う範囲でお知らせしていく。
2	地域との交流が少ない。	地域のイベントには参加するも、住民や周辺の放課後等デイサービス、児童館との繋がりをもつことができていない。	安全性と保護者様の意向を確保したうえで、どのように地域のなかに関わっていくのかを検討していきたい。
3	各職員のタスク状況の把握	支援についてはミーティング時に話し合いが出来ているが、個人のタスクについては、口頭のみ共有と確認になっている。	各職員のタスクを視覚的に把握できる環境を作り、職員がより協力しやすい体制を作り、業務の効率化を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエ・キッズ高崎員沢事業所

公表日 年月日 2026年3月2日

利用児童数 年月日 29

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		1	快適に過ごせています。	今後もお子様が集中できる環境、気持ちや活動をスムーズに切り替えられる環境作りに努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2		3		人事異動などがあつた際は申し送りやおたより、LINEなどで保護者様にお伝えし、スタッフが何名いるのかわかりやすくなるよう努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1				今後も安全に配慮し、必要な設備を整えて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18			2		今後も清潔を保持し、お子様が気持ちよく活動できる様努めています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					引き続き、ご家庭での様子などを伺いながら支援内容や方法を検討していくとともに、スタッフのスキルアップも図って参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1		今後もそれぞれのお子様にあった支援計画の作成に努めます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19			1	ガイドラインの内容をごちらが把握していないため、分からないと回答させていただきました。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1		1	子どもが楽しく活動できるよう色々なプログラムを考えてくれていると思う。	今後も新しい活動を取り入れ、様々な体験が出来るよう検討して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	4	3	5		今年度は地域の方をお招きしたお茶会を開催いたしました。引き続き地域の方々と交流する機会を設けていきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				丁寧に説明していただきました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	1	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	20				・毎回、利用時の様子を教えて頂いています。 ・送迎の時に子どもの様子や活動などを伝えてくれるので理解できている。	今後も様々な方法でお子様の様子を共有していけるよう努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				おかげさまで、出来る事が増えています。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	3	6	・一人子なので、きょうだい支援は分かりません。 ・忙しい家庭が多いと思うので特に保護者会等はなくても良いと思う。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20				こまめにSNSの更新があるので写真を見て様子が知れるのでありがたいです。	今後もSNSやおたよりを定期的に発信し、お子様の頑張っている様子をお伝えできる様努めて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		1	2	色々な場面を想定して訓練してもらるので家庭で子供にも伝えやすい。	訓練実施後は今後も毎月のおたよりで報告するなど全てのご家庭に実施状況が分かるよう工夫いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	1		発生していないのでどちらともいえない。	引き続き速やかなご連絡を徹底して参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				多少の不安はあると思うが、スタッフの方にも慣れて楽しく通っている。	今後も安心して通っていただける様努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20					お子様に、楽しかった、嬉しいことがあったと感じていただけるよう、支援内容を検討して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				・家庭では出来ない事をたくさん支援して頂いているので、子どもの成長に繋がっていき嬉しく思います。 ・今日一日の様子を送ってくれてとても分かりやすいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アトリエ・キッズ高崎貝沢事業所		公表日		2026年 3月 2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	曜日によって3~4名の職員が配置している。	適正人員ではあるが、個別対応時やパートさんの勤務時間が短い為、支援を手厚く出来るように人数を増やしてほしい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		バリアフリー化として手すりや幼児用机・椅子を用意して対応している			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節の行事や動画を使用したビジョントレーニング・子どもたちのリクエストを取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			送迎が遅れてしまう場合や学校にて待機していただく場合は事前に学校へ連絡をしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	長期期間中に親子レクとしてお茶会や運動会等を企画し、保護者様同士が顔を合わせられる場を設けたいと検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		月1回のアトリエメールや毎日のお子さまの様子をInstagramで発信をしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		送迎時またはLINEにて保護者様服薬など持参をしているのかなどを確認をしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		昼食やおやつを提供するにあたりアレルギー調査を実施している。購入時や使用時に食品のアレルギー表示のダブルチェックを行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			